

# 目指せ！図書館マスター 図書館マスターだより

2023年10月  
塩尻市立図書館  
編集



## 第8期図書館マスター認定！

### 図書館マスターって？

図書館マスターは本や司書、図書館全体について学び、司書の仕事を体験してもらう講座です。

今年は15人の受講生が全7回の講座を修了し、図書館マスターに認定されました。

回	日付	テーマ
第1回	7/9(日)	開講式、 図書館の本のならべ方
第2回	7/16(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで①
第3回	7/30(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで②
第4回	8/20(日)	カウンターの仕事と 本の修理
第5回	8/27(日)	図書館マスターだより を作ろう
第6回	9/3(日)	おすすめ本のPOP を作ろう
第7回	9/17(日)	ビブリオトークをしよう！ 修了式

- ・図書館マスターの開講式
- ・図書館で働く司書の仕事について

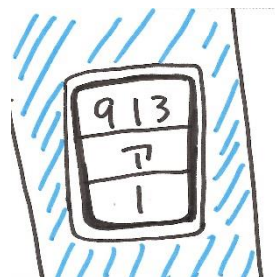


## 図書館の本は どんなふうにならんでいる？



- ・図書館に本をならべるための分類法「日本十進分類法」を知ろう
- ・本のならべ方を理解しよう
- ・実際に本棚へ行って確認しよう

# 日本十進分類法 NDC



図書館マスターで一番印象に残ったのは、第1回の講義で学んだ日本十進分類法についてです。以前から図書館の仕組み等に興味があり、今回のイベントで細かに学んで、一つ一つの数字に意味が込められているのだと知り、とても面白いと感じ、同時に一冊の漏れもない図書館の管理体制に感銘を受けました。

これを読んでいる方もぜひ日本十進分類法について触れ、図書や図書館についての理解を深め、図書館をもっと楽しんで利用してもらえれば良いなと思っています。

養田 燈菜





# 1冊の本が図書館の本になるまで①

- ・見計らいと選書会議をして、どの本を買うかみんなで決めよう



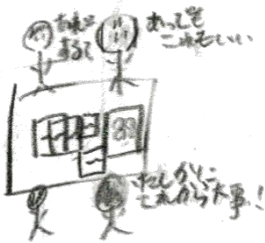
## 図書館の本は選書会議で決まる。

私が一番心に残ったのは、選書会議です。選書会議には買う本がたくさんあり、その中から決められた予算の中でみんなが読んでためになる本や、読みたいと思うものを選びました。いいものがたくさんあり選ぶのに時間がかかりましたが、いい本を選ぶことができ、良かったです。みんなといい本を選ぶことができ、とても楽しかったです。また、本の中身を見て、選ぶことができました。選書会議は今だけではなく、未来まで続く大事な会議なのです。

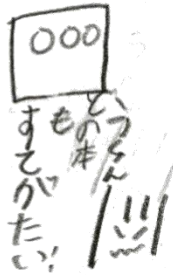
清水 実結



めっちゃ楽しかったよ!



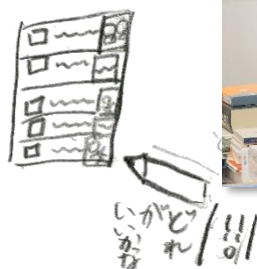
選書会議



私が一番心に残ったことは、選書会議です。本を選ぶときには、思い切ってこの本をやめようと思っても、やっぱり残そうという風になったり、なかなか予算内にならなかつたりといっぱい問題がでてきて難しいなと思いました。中でも一番うれしかったのは、決まった本を館長に認めてもらったことです。理由は、みんなで協力してちゃんと認めてもらったのがとてもうれしかったからです。

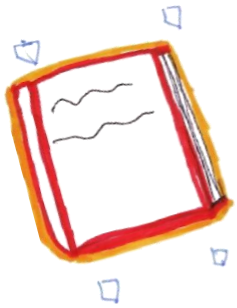
これから本を借りるときは、この本はだれがどのような気持ちで選んだのかなと考えながら本を借りたいです。

黒川 涼香

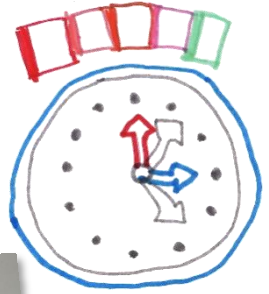


## 1冊の本が図書館の本になるまで②

- ・買うことになった本の「装備」をしよう
- ・ラベルをはってブッカーをかけよう
- ・本の登録と検収をして棚にならべよう



# まほうなはり紙 ブッカー



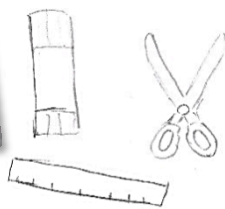
私が心に残った回は装備をしたことです。ブックコートフィルム(通称ブッカー)をきれいに貼ることで汚れや傷みを防いでくれます。自分でも汚さないように改めて思いました。実際にブッカーをやってみたら、空気が入ってしまったし、見るより難しかったです。自分がやった本と貸りた本を比べてみたら「びっし」ときれいで空気が入ってなかったのすごいなと思いました。

時間をかけて本をブッカーしてくれてるので大切に使いたいなと思います。

丸山 結莉



# 思ったより大変! でも楽しい! ブッカーかけ!!



私が一番難しいと思ったのは、ブッカーかけです。

ブッカーかけは、本を長く読んでもらうためにとても必要なことだと知りました。新しく入ってきたキレイな本を、はさみやのりで空気やごみが入らないようにていねいにかけました。本にブッカーをかけるときは、ずれたりしてないかいちいち見るのが大変で、見るだけでは、難しさが分からないんだなあと思いました。この作業をやっている司書の方は、一冊一冊やっていると思うと、すごいなあと思いました。これからは、司書の人の気持ちを感じながら大切に読んでいこうと思います。

川村 紫菜



## カウンターの仕事と本の修理

- ・カウンターの仕事をやってみよう
- ・本の修理方法や取りあつかい方を学ぼう
- ・本の歴史について学ぼう

意外と大変

# カウンターの仕事



私が一番印象に残っているのは、カウンターの仕事です。

カウンターの仕事は、私が思っていたより大変でした。前から貸出の様子は見えていたけど、一番上の本をひっくり返すなんて知らなかったので、びっくりしました。

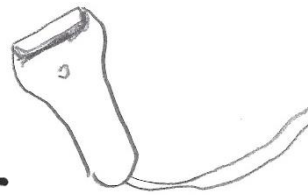
貸出、返却だけがカウンターの仕事だと思っていました。けれど、DVDのチェックや本にしおりが入っていないかのチェックなども、カウンターの仕事だと知ってびっくりしました。

今までカウンターの仕事は簡単なものだと思っていました。けれど、いざやってみるととても難しく、でも難しいからこそ、やりがいのある仕事だと思いました。

所 かえで

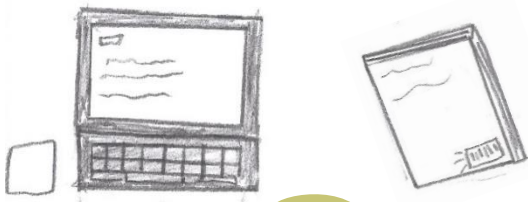
けっこうむずかしい

# 図書館のカウンター



自分が一番印象に残っていることは、カウンターの仕事です。ただ、本のバーコードをよみこむだけかと思ったら、ほかにも仕事があったり、人がたくさん来たり、案外いそがしかったです。でも、返却すると、うれしそうな顔で「ありがとうございます」と言ってくれて、とてもがんばれました。そのおかげで、とても楽しかったです。これからカウンターを利用するときは、司書さんに感謝し、あいさつと笑顔で心がけて利用したいと思います。

佐世 百花





# カウンターの仕事

私が図書館マスターで一番楽しかったのはカウンターの仕事です。

カウンターの仕事は、ずっと立ったり、動きまわったり、たくさんの利用者の方が本の貸出にきたり、クーラーがよくきいていなかったりと、とても大変な仕事でした。

ですが、カウンターの仕事は貸出の方法を教えてくれた図書館の職員の方と話したり、利用者の方が探して欲しいといった本を探すのはすごく楽しかったです。

カウンターに立つ人はとても大変なんだなということと、大変でも楽しいことはたくさんあることが知れました。

鷲澤 心葉



難しい! が面白い!

## カウンターの仕事



私が一番楽しかったことは、カウンターでの仕事です。

最初は、「貸出・返却」の作業だけすれば良いのか、簡単だなと思っていたのですが、実際にカウンターに立ってみると、貸出・返却だけではなく、様々な相談や質問が飛びかい、あせりつつも楽しく仕事できました。

私は今まで、司書は本と関わる仕事だと思いこんでいました。しかし、カウンターでの作業を通して、司書という仕事は、本だけではなく、利用者の皆さん、つまり「人」と深く関わる仕事なんだと気付かされました。

これからも司書さんたちと関わる機会が多くあると思います。優しく相談に乗ってくれる司書さん達に感謝して利用したいです。

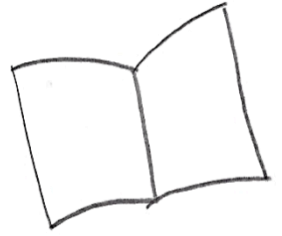
與曾井 千里





大変だった

# カウンターの仕事



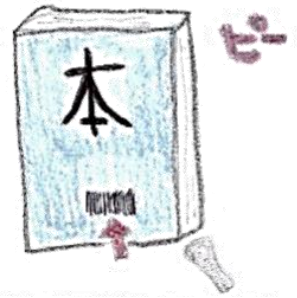
私が一番心に残ったことは、カウンターの仕事です。本の貸出や返却、返却資料の確認をしました。どんな時も利用者さんのことを考えて、ていねいな対応をすることが大切でした。実際にカウンターで貸出、返却の作業をやってみると、パソコンの操作がむずかしかったり、利用者さんを待たせてしまったりしました。むずかしかったけれど、司書さんに教えてもらって、なんとか貸出、返却ができました。カウンターでは、利用者さんのことを考えて、ていねいな対応をすることが大切だと思いました。

土屋 彩愛



楽しくてきた

# カウンター



私の中で一番思い出に残ったことは、カウンターに立ってパソコンを使ったことです。

図書館マスターをやり始める前は、パソコンは簡単に出来ると思っていたけれど、実際にやってみたらすごくむずかしくておどろきました。もう一つ心に残ったことは、図書館に来てくれた人にしっかりとあいさつが出来たことが自分でもうれしかったことです。

これから私は図書館に行ったときには、明るい声でのあいさつをずっと心がけていこうと思いました。

清水 心葉



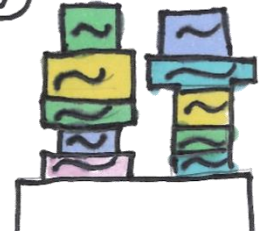


利用者さんの気持ち<sup>気持ち</sup>を考える!



ドッ

# カウンターの仕事



わたしが一番難しかったことは、カウンターの仕事です。

カウンターで貸出などの操作をすることが難しく、利用者さんが待っているということもあったので緊張しました。

けれど、そういう感じで遅めになってしまったとき「ありがとうございます」という利用者さんからの一言で自分がすごい安心しました。

これからは私も司書さんなどのカウンターの方の気持ちを考えながら借りたり、返したりしたいと思います!

岡田 梓暖



思っているより、難しい!



# カウンターの仕事



私が一番難しかったのは、カウンターの仕事です。カウンターの仕事は、他の人がやっているところを見ても簡単そうに見えますが、やってみると、とっても大変でした。パソコンの操作も難しいし、「利用者の方に背を向けない」というルールもありました。

利用者の方がこないときは、少し休憩できると思ったら、本の中を調べるという仕事がありました。「司書の方たちは、大変だ〜。」と思いました。

今度からは、借りたり返したりするときは、司書のみなさんに感謝して、図書館に行こうと思いました。

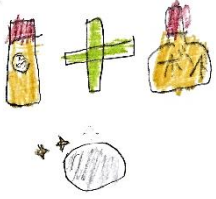
江口 優真





# かんたん?

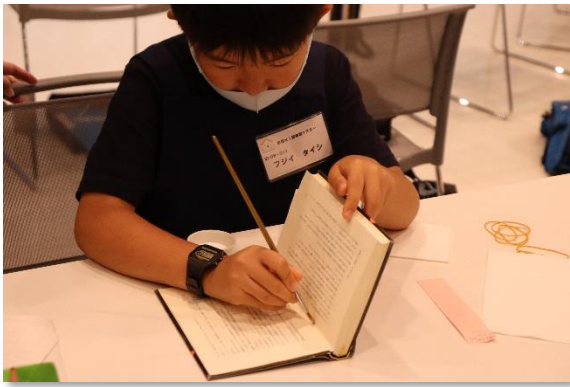
# いかるではなし! 本の修理



ぼくが「目指せ! 図書館マスター」で一番心に残っているのは、本の修理です。本の修理は簡単そうに見えてビミョーに難しいです。

本の修理は、やぶれたところをテープではったり、のりではったり…そう簡単ではありません。直すための専用ののりを使い、さらにつけすぎるとはみでます。少なすぎるとそれもダメなのでビミョーな加減が必要です。家で直すときは、アラビックヤマトのりとボンドを混ぜて使います。さらにやぶれたところを直すときのテープは専用のテープを使います。セロテープでは黄色くなってしまうので使ってはダメです。さらに慣れが必要です。本を長く使うには修理も必要です。本は大切にすれば長持ちします。それでも壊れたら捨てるのではなく直すことをオススメします。

藤井 大志

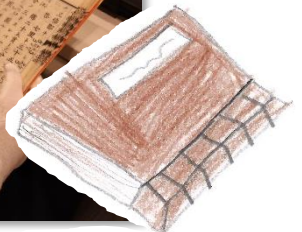


# 本の歴史

巻物 700年頃

ぼくが一番印象に残ったのは、本の成り立ちや、本の歴史についての話です。昔の本や昔の教科書を司書さんに見せてもらって、昔の本はいろいろと工夫があったんだなと思いました。例えば、700年頃は巻物だったけどしまうのが大変で、1500年頃は和本で、今の本よりやわらかくて、もっとしっかりしようとして今の1800年頃の本になって、好きなページも開けるし、しっかりしてしまっても簡単にしまえるので、昔の人はいろいろと工夫をして、がんばってたんだなと思いました。これからも本の歴史についていろいろ探っていきたいなと思いました。

服部 蓮



和本 1500年頃

# 図書館マスターだよりを作ろう

- ・図書館で発行しているおたよりから「広報」の大切さを知ろう
- ・これまで学んできた講座をふりかえって、マスターだよりの記事を書こう



図書館マスターで一番心に残ったこと、楽しかったこと、難しかったこと。

10 みんなしっかり記事を書いてくれました！



# おすすめ本のPOPを作ろう



- ・本と人をつなぐための手段を学ぼう
- ・おすすめの本のPOPを作ってみよう！



みんなのすてきなPOPが完成しました！



# ビブリオトークをしよう！ 修了式

- ・ビブリオトーク発表
- ・図書館マスター認定書交付

**ビブリオトークとは…** 1人、または数人で本を紹介する技法

今回はみんなのおすすめの本を1冊ずつ  
POPといっしょに紹介してもらいました！

## ビブリオトーク 発表本一覧

タイトル	著者名	出版社
あやしの保健室 2-2 祟るイチョウ	染谷 果子 HIZGI/絵	小峰書店
5秒後に意外な結末 アポロンの黄色い太陽	桃戸 ハル usi/絵	学研プラス
理花のおかしな実験室シリーズ	やまもと ふみ nanao/絵	KADOKAWA
探偵はもう、死んでいる。	二語十	KADOKAWA
5分後に意外な結末ex アクアマリンからあふれる涙	桃戸 ハル usi/絵	学研プラス
雨ふる本屋	日向 理恵子 吉田 尚令/絵	童心社
図書館戦争	有川 浩 徒花 スクモ/絵	メディア ワークス
もしも地球がひっくり返ったら	川村 康文/監修	学研プラス
四つ子ぐらし 11 転校生はいとこでアイドル!?	ひの ひまり 佐倉 おりこ/絵	KADOKAWA
カンタの決心	草野 あきこ かけひ さとこ/絵	岩崎書店
水草レイアウト制作ノート	アクアライフ編集部編	エムピー ジェー
ルルとララのしらたまデザート	あんびる やすこ	岩崎書店
ラストサバイバル 18 間に打ち勝て!サバイバルキャンプ	大久保 開 北野 詠一/絵	集英社
3分間サバイバルシリーズ	粟生 こずえ	あかね書房
その本は	又吉 直樹 ヨシタケ シンスケ	ポプラ社



## 図書館マスター生の感想！

たくさんすてきな経験をさせていただき、司書さんの苦労や本のすばらしさを改めて知った。この経験を今後活かしていきたい。

今回、学校では学ぶことができないことをたくさん知れたし、司書の人たちの苦労やすごさを知れました。貴重な体験ありがとうございました。とても楽しかったです。

本についての色々なことが知れたので良かったし、楽しかった！

今までの講座で工夫や大切さが分かった。

図書館はただ、本を借りられるところではなく、司書の人たちががんばってくれているから本が借りられることが分かった。

カウンターの仕事が大変だったけど、楽しかったです。司書のみなさんありがとうございました。

参加して、本の大切さを改めて知った。これからも本を大切にして、本をたくさん読みたい。



司書さんは、本はもちろん、人と本を繋ぐ役割を担っている立場なんだと強く感じました。毎回とても楽しかったです！



今まで知らなかった図書館の裏側、司書の仕事がどれだけ大変かということなどを知れたので良かったです。



司書の仕事がどれだけ大変かが分かった。本の修理の仕方が分かった。

普段できないことがやれて、図書館マスターが終わっても、それを活かしていきたいです。

司書の仕事の大変さや図書館のことについてくわしく知れたので良かったです。

今回、今まで知らなかったことがたくさん知れたし、図書館のおもしろさや楽しさも知れて良かった☺





## 館長からのメッセージ



第8期「目指せ！図書館マスター」を受講した15人の皆さん、認定おめでとうございます。

7回の講座で、分類法、選書、カウンター業務、本の修理、本の歴史、マスターだよりの原稿づくり、POPづくりとビブリオトークなど、司書の仕事について多くのことを体験してもらいました。苦勞しながらも、真剣にそして楽しそうに取り組んでくれた皆さんの姿をみてうれしく思いました。

図書館の楽しさや本の魅力を周りに広めていくことが、図書館マスターの役割です。皆さんの活躍を期待しています。

そして、本との出会いは、これからの人生を確か豊かなものにしてくれます。たくさんの本を読み、将来への夢を広げていってください。

図書館長 上條史生

## 編集後記

この図書館マスターだよりは、目指せ！図書館マスター第5回の「図書館マスターだよりを作ろう」の中で作成されました。マスター生たちが講座の中で一番印象に残ったこと、楽しかったこと、難しかったことなどをもとに原稿やイラストを書いています。

図書館マスターを通して、どんなことを学んだか、感じたか。思い思いの記事になっていますので、図書館マスターに興味がある子や保護者の方にも読んでいただきたいです。

2023年10月発行 塩尻市立図書館

